

東北六県観光推進機構の設立について

平成19年6月7日(木)、仙台市「ホテルメトロポリタン仙台」において、東北の観光戦略を推進する総合的な役割を担う「東北観光推進機構」が設立されました。

「東北観光推進機構」は、東北7県の自治体と民間が一体となり、東北観光の認知度向上と国内・海外観光客等の誘致を推進し、観光産業の振興と東北経済の発展に寄与することを目的としており、会長には、幕田圭一東北経済連合会会長が就任しました。



幕田会長あいさつ



西村副知事出席

東北観光推進機構では、平成19年3月にとりまとめられた「東北観光戦略」に基づき、戦略1「多くの人に「東北」を知ってもらい、観光客に満足してもらおう戦略」、戦略2「国内大都市圏から東北に観光客を誘致する戦略」、戦略3「東アジアを中心とした海外からの観光客を誘致する戦略」、戦略4「観光戦略推進のための総合的な役割を担う体制づくり」を4本の柱として、東北が一体となって事業に取り組むこととしております。

なお、設立記念式典では、石川好前秋田公立美術工芸短期大学学長による「観光業を活性化するために」と題した講演が行われました。冒頭において石川氏は、「東北観光推進機構は、現代における“奥羽列藩同盟”」と述べ、「東北7県は観光における運命共同体となって、海外向けには外客誘致の枠組みを、国内向けには“物語”を作り上げていくことを期待している」と結び、来場者から大きな拍手を浴びておりました。



石川好氏の講演

記念式典後にはパーティーが開催され、村井宮城県知事や達増岩手県知事などのあいさつの後、地元の子供たちによる「仙台すずめ踊り」が披露されるなど、終始和やかなムードが漂い、参加者それぞれが新しい東北観光の船出に酔いしれているようでした。



アトラクション(仙台すずめ踊り)



佐藤部長と田中観光課長も出席